

各WGにおける検討項目について

□ 令和4年度の基準・国際検討WGで予定している主な検討事項は以下のとおり。

項目	令和3年度	令和4年度
事業実施のためのBIM/CIM基準要領等の改定	<ul style="list-style-type: none"> ICT施工で活用可能な設計3D仕様の検討 設計で活用可能な測量3D仕様の検討 地質リスク等を後工程へ引き継ぐ手法の検討 既存基準・要領等の継続的な見直し 	<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト内でのBIM/CIM活用方法の検討（BIM/CIM活用ガイドラインの改定） 事業監理のための統合モデル活用方法の検討（発注者内での協議等） 既存基準・要領等の継続的な見直し
ISO19650に基づくプロセス改善	<ul style="list-style-type: none"> 並行事業間における情報共有等データ管理手法の検討 ISOに則ったプロセスを実施している海外事例の調査 	<ul style="list-style-type: none"> ISOに則ったプロセスを実施している海外事例の調査（継続）
国際動向への対応（IFC関係）	<ul style="list-style-type: none"> bSIサミットにおけるIFC検討状況の報告 国内における対応状況の報告（IFC、LandXML） 	<ul style="list-style-type: none"> bSIサミットにおけるIFC検討状況の報告 国内における対応状況の報告（IFC、LandXML）

□ 令和4年度の実施体制検討WGで予定している主な検討事項は以下のとおり。

項目	令和3年度	令和4年度
適用事業の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 対象拡大に向けた進め方の検討 モデル事務所におけるBIM/CIM監理業務等の実施状況報告 	—
3次元を主とする契約方式の検討 →リスク情報の継承手法の検討	<ul style="list-style-type: none"> 試行結果を踏まえ、3次元データを契約図書とする場合の課題分析（主に土工） 3次元データによる構造物の出来形検査手法の検討（継続） 	<ul style="list-style-type: none"> 施工時のトラブルになりやすい箇所分析（データ管理、発注図書の精度、発注方法（工区割等）等の原因別） 現場不一致等に起因する変更協議箇所分析 モデル事務所におけるBIM/CIM監理業務等の実施状況報告
BIM/CIM関係の各システムの活用	—	<ul style="list-style-type: none"> BIM/CIMを活用した事業監理等に関するシステムの関係性と活用の流れの整理
新たな積算方式の構築	<ul style="list-style-type: none"> 現場実証を踏まえ、BIM/CIMモデルの積算により効率化が見込まれる箇所の整理 	<ul style="list-style-type: none"> 形状詳細度300程度のBIM/CIMモデルを用いた効率的な工区分割手法の検討
監督検査の効率化	—	<ul style="list-style-type: none"> ICT施工等による監督検査の効率化
維持管理の効率化	—	<ul style="list-style-type: none"> 国土交通省各局における検討
受発注者の教育	<ul style="list-style-type: none"> 研修コンテンツの更新及び拡大 国総研DXデータセンターのシステム構築 	<ul style="list-style-type: none"> 研修コンテンツの更新及び拡大（リクワイヤメントの適用場面等）